（10・25日発行毎月２回発行　昭和53年６月25日　第三種郵便物認可）　「あいちの仲間」は県本部HPでも閲覧可能です

自治体 あいちの仲間

2014. 3. 25
No.1089

発行責任者　柳　　進　定価　10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

発行所　自治労連愛知県本部　名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL　http://www.jaichi.jp　TEL〈052〉916−2251
Eメール　info@jaichi.jp　FAX〈052〉916−2308

第85回愛知県中央メーデー

とき　5月1日（木）
ところ　名古屋市中区・エンゼル広場

地域メーデーについては組合事務所にお問い合わせ下さい

全ての労働者の待遇改善を

くらし守れと集会・宣伝行動

3・13全国統一行動

全労連が全国に呼びかけた「3・13全国統一行動」は、「民間・公務のすべての労働者の賃上げで景気回復を」「住民のくらしを支える公務公共業務の拡充」などを掲げて行われ、自治労連の仲間も県内の多くの職場で声を上げました。

当局の組合無視許すな！

退庁時に怒りの決起集会を開催（瀬戸市役所にて）

13日の退庁時、瀬戸市職員労働組合は「職員・組合無視の横暴許すな！　3・13労働条件の一方的変更の撤回を求める抗議集会」を開催。60人を超える組合員が本庁ロビーに集まりました。

この集会は、瀬戸市当局が組合に何の提案や協議も無いままで労働条件の変更を議会へ上程したことに抗議して開催されました。

はじめに遠藤勇委員長が「昨年秋の再任用の格付け、今回の旅費の日当廃止など、当局は組合に対して何の提案や労使合意も無く一方的に変更しようとしていることは許されるものではない」と長年培われてきた労使の関係が、破壊されようとしていることを指摘。「日当の廃止自体が問題の本質では無い。組合の存在を無視するやり方が問題である。これは組合の存亡をかけたたたかいだ」と訴えました。

また、当局の不誠実な対応に「組合のたたかう姿勢を当局に示しながら、みんなで運動をつくり、みんなですすんでいこう」と呼びかけると大きな拍手が起こりました。

この日の集会には、県本部をはじめ尾張地域の仲間も結集。林・県本部書記長は「組合と市の協議の徹底をはかることが大切だ。組合にみんなが結集し、誤った市の姿勢を正そう」と激励。望月・春日井市職労委員長は「市民のために働く職員をないがしろにすることは問題である」と当局の姿勢を糾弾するあいさつ。長久手市職労からも「労組軽視の姿勢は許せるものではない」とメッセージが届けられました。

集会は組合員の怒りを交渉にぶつけようと意思統一し、大きな声で「団結ガンバロー」を三唱しました。

当局に誠実な対応求める

上四元直樹書記長

瀬戸市職労の書記長、上四元（かみよつもと）直樹さんは「今回の決起集会を前に、組合ニュースを全員に配布した。当局の不当な姿勢を知らせて追求していく」と組合員の理解をもとに運動をすすめる大切さを語ってくれます。「組合員の一人一人が、事務や現業、初任給や年金といった個別に見える課題を、みんなの問題として共有できるようにしていきたい。4月の新採の時期に組織の拡大と合わせて要求を前進させ、組合の必要性をみんなに分かって欲しい」と語ってくれました。

名古屋市中区の栄広場で全県労働者決起集会が行われ、全体300人、自治労連から160人を超える仲間が集まりました。愛労連・榑松議長が「月30万円の給料では4000円の賃上げを実現しないと消費税増税に対応できない」と訴え。14春闘で安倍内閣の暴走を阻止し、くらし守るたたかいを職場・地域から大きくすすめる決議を採択しました。

豊川市職労は本庁舎で早朝ビラ配布を行いました。7人が庁舎入り口に分かれ、組合の春闘要求15項目を中心に掲載したニュース500枚を出勤した職員へ手渡しました。

豊橋市職労は早朝の組合ニュース配布行動とマイク宣伝を行いました。「給与制度の総合的見直し」という新たな賃下げを許さず、はね返そうと抗議署名への協力を訴えました。

誠実に労使合意をめざす姿勢を追及

愛知県市町村課交渉

県の市町村課と意見交換

3月13日、14春闘要求書をもとに、愛知県市町村課との交渉を行い、県本部はじめ、西尾市職、知立市職労、瀬戸市職労など11人が参加。市町村課は、主幹以下5人が対応しました。

交渉は、労使合意について「昨年末から複数の市町村で、労使合意のないまま議会上程の動きがでている。労働条件に関する事項の変更は労使合意を前提にすべきだ」と、要請したのに対し、市町村課は、「地公法55条には、当局側から組合に対して協議を絶対にしなければならないとは書いてない」と、不当な態度を示しましたが、「民間なら勤務条件の変更は事前の労使合意が当たり前だ。決裂を前提の交渉はおかしい。誠実に合意を目指す姿勢を徹底して指導してほしい」と再度追及。「十分な事前説明は必要であり、労使合意を目指すのは当然。自治体により温度差はあるが労使が良好な関係になるよう、必要な情報提供はしていきたい」と回答。一方的な勤務条件の変更ではなく、労使合意を目指す誠実で円満な協議の必要性を確認しました。

交渉では、「給与制度の総合的見直し」や「人員削減や給与カットなどの行革努力が地方交付税の算定に反映される」などと言われる地方交付税の問題点に関して追及。また、自治体非正規雇用・公務公共関係労働者の待遇改善要求署名２３２８筆を机上に積み、「ほとんどの自治体が非正規職員のがんばりで行政運営できている。均等待遇前提に処遇改善をすべき」と訴えました。初任給について、「民間比較では民間が2万円ほど高い。地方の意見として発言してほしい」と要望しました。

自治労連 セット共済 安くて安心
掛金 1820円/月 ⇨ 病気入院 5000円/1日

介護士が働き続けられる職場 安心して介護が受けられる社会を

あいち介護セミナーｉｎ半田

「その人が望む介護を受けられる社会が必要です」と語る落合恵子さん

誰もがいきいきと介護を提供でき、介護職場を安心して働き続けられるものにしようと「あいち介護セミナーｉｎ半田」が3月16日、アイプラザ半田で開催されました。

午前中は「母に歌う子守歌～私の介護日誌～」と題して落合恵子さんが記念講演。自身の経験を通して感じた介護の辛さ、楽しさを語るとともにその問題点を指摘しました。

落合さんは「お金があっても無くても、その人が望む介護を受けられる社会が必要です。今、それが受けられなくなる社会がつくり上げられようとしている」と、今すすめられつつある介護保険制度の改悪をくい止めようと訴えました。また「なぜ福祉にお金が使われないのか。皆さんが声を出すことが大切です。介護士の力が長続きする社会をつくり上げましょう」と呼びかけると、会場からは賛同の拍手が起こりました。

午後からは3つの分科会に分かれ、日頃の悩みや経験を交流しました。

介護保険制度の改悪は許さない

介護保険が改悪されつつある現状について、集会に参加されていた、なごや介護労組の津山美千子委員長は、「改悪により介護認定の基準である要介護1・2に認定されている人が保険対象から外されてしまう」と指摘。「被介護者とその家族にとって、利用料金の負担増で生活が厳しくなる。ヘルパーにとっても介護の現場の減少や時間短縮で仕事が無くなる。ヘルパーへの給料を減らさないよう減額分を負担してくれる事業所にとっても経営が厳しくなる。こんなことは許されない。福祉を充実させて誰もが安心して暮らすことができる国をつくらなくてはいけません」と語ってくれました。

〝組合があるから安心して働ける〟

西尾市職　新採組合説明会

若手の執行委員が質問に答えた加入運動

県内各地で自治労連の仲間が増えています。

西尾市職は3月6日の夕方に新採組合説明会を開催。当日の新規採用者研修の昼休憩に、組合説明の資料を渡して説明会への参加をお願いしました。

説明会に参加したのは新採36人中35人。柵木執行委員長をはじめ多くの執行委員が、職員の仕事とくらしを守る労働組合の大切さを訴えました。

民間職場を経験している執行委員が、「前の職場には労働組合が無く大変苦労しました。今の職場には組合があり、みんなが安心して働くことができます。ぜひ皆さんも組合に入って欲しいと思います」と自身の経験をもとに呼びかけました。

その後、執行委員が新採のテーブルを回り、「組合のことがまだよく分からない」といった質問に答えるなど丁寧に対応。これに応える形で新採職員はひとりふたりと加入を決意。34人が新しく自治労連の仲間として加わりました。

3・11岩手
自治体職員の証言と記録
自治労連・岩手自治労連　編
晴山　一穂　監修
頒価　1,500円+税
3.11岩手　その時どのような状況におかれ、どのような思いを抱き、行動したのか。被災地岩手の自治体職員と被災地派遣職員がはじめて綴る

「おきプロNEXT」プレ企画 県本部第6回フットサル大会

女性プレイヤーも大活躍しました

県本部第6回フットサル大会が3月9日、「フットボールコミュニティ名古屋」で開催されました。

「おきプロNEXT」プレ企画第3弾となるこの企画には、9単組から15チーム、120人を超える仲間が参加。今年から真剣勝負の競技リーグと、交流目的の親睦リーグに分かれての対戦となりました。

競技リーグでは、鋭いパス回しから強烈なシュートがゴールに突き刺さるなどレベルの高いプレイの応酬。一方、親睦リーグでは女性選手がゴールを決めると拍手と歓声で大盛り上がり。レベルに応じたリーグで参加者全員がプレイを楽しみました。

競技リーグ優勝「名水労中村工務店」チームと準優勝「幸田町職労FCK2004諏佐」チーム、3位チームに「おきプロNEXT」賞品が贈呈されました。

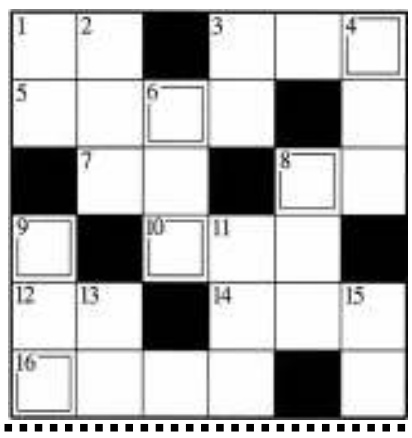
おたのしみプレゼントつき クロスワードパズル

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード（1000円分）を贈呈します。

〒462－0845
名古屋市北区柳原3丁目7－8　自治労連愛知県本部教宣部　締め切りは4月30日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

【ヨコのカギ】①口のデカイ動物　③言葉に――を持たせる　⑤全20巻の――　⑦後悔。○○が残る　⑧○○緒、○○密　⑩――惨憺　⑫○○同文　⑭――よく事を運ぶ　⑯陸地に近い海

【タテのカギ】①やっと○○の荷が降りる　②マウンテン――に乗る　③笑う門には○○来る　④過去、現在、――　⑥へたな――はよせ　⑧面倒。さても――なこと　⑨この次の期。――の予算　⑪師と弟子　⑬酒は熱○○で　⑮三十一（みそひと）文字とは



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。

クイズの当選者

1085号のクイズの答えは「シチフクジン」でした。53通応募で53通が正解でした。以下の方に図書カードを送ります。

小泉　拓馬（豊橋市職労）
小島　啓義（名水労）
田中　弘恭（学事労）
中神　浩子（豊橋市職労）
林　祐里子（春日井市職労）
真野　友貴（岩倉市職）
村井見早子（長久手市職労）
森　朋絵（瀬戸市職労）
山﨑　豊（西尾市職）
吉田　英樹（名古屋市職労）